

能楽学会
■第28回 能楽フォーラム■

この人に聞く

—関西大学図書館新収蔵能楽文書をめぐって—

今年度の能楽フォーラム第2弾として、関西大学に新たに収蔵された井狩本を特集します。井狩本とは、狂言の茂山千五郎家を支えてきた弟子家集団「愛狂社」の中心人物だった井狩辰吉（大正9年72歳没）が千五郎家の台本を丁寧に書写したものです。本フォーラムでは、辰吉の子孫にあたる井狩尚志氏と、このたび「千作」を襲名なさった、五世茂山千作氏をお招きし、お話を伺います。

また、狂言研究の重鎮、田口和夫氏に東西の狂言の特色についてお話しいただき、トーク・セッションでは、これからの狂言について語り合います。

第1部 13時00分～14時00分

【基調報告】「東と西の狂言—初世萬・四世千作— 附、井狩本改正狂言について」
田口 和夫氏（文教大学名誉教授）

第2部 14時10分～17時00分

【この人に聞く①】

井狩 尚志氏（能楽愛好家） 聞き手 関屋 俊彦氏（関西大学教授）

【この人に聞く②】

茂山 千作氏（大蔵流狂言方） 聞き手 関屋 俊彦氏（関西大学教授）

【トーク・セッション】 井狩尚志氏、茂山千作氏、田口和夫氏、関屋俊彦氏

日時：平成29年3月6日(月) 13時00分～17時00分(開場12時30分)

会場：関西大学千里山キャンパス 第一学舎1号館千里ホールA

(阪急千里線「関大前」駅下車、徒歩10分)

参加費：500円(資料代) *能楽学会会員は無料。

*事前の申込み不要。どなたでもご参加いただけます。

問合せ先(Mail)：nohgaku_forum@zoho.com

(Tel)：関屋俊彦研究室(06-6368-0492)、浦和男研究室(072-229-5370)

関西大学国語国文学合同研究室(06-6368-0321)、関西大学(代表)(06-6368-1121)

主催：能楽学会

共催：関西大学文学部、関西大学なにわ大阪研究センター特別研究「なにわ大阪の『笑い』に関する調査と研究」

協力：神戸女子大学古典芸能研究センター